

九州国立博物館 特別展応援セミナー

江戸絵画のトリックスター

長沢 芦雪^ろの^{せつ}世界

【特別展】

2024年2月6日(火)～3月31日(日)

生誕二七〇年

長沢 芦雪
— 若冲、応挙につづく
天才画家

重要文化財
長沢芦雪筆 虎図襖
江戸時代 天明6年(1786)
和歌山 無量寺 串本応挙芦雪館
前期 (2月6日～3月3日)

長沢芦雪は、18世紀後半の京都で活躍した人気絵師。現代でも「奇想の画家」の異名で親しまれ、国内外で高く評価されています。その芦雪の画業をたどる本格的な展覧会が、この冬、いよいよ九州に初上陸します。代表作の龍虎図襖(和歌山 無量寺・串本応挙芦雪館所蔵)をはじめ、初期から晩年までの選りすぐりの作品が一堂に会します。芦雪ならではの奇抜な着想と、大胆かつ卓越した筆さばきをご堪能ください。

また、本展覧会では、芦雪と同時代に活躍した、伊藤若冲、円山応挙、池大雅、与謝蕪村らによる珠玉の名品がゲスト出陣します。日本美術の巨匠らが競い合い、創造的エネルギーを燃やした18世紀京都の絵画世界に皆様をご案内します。

2024年2月14日(水)

18:30～19:30

Zoomによるオンライン開催

講師：鷺頭 桂氏

国立文化財機構 文化財防災センター 兼
九州国立博物館 博物館科学課 主任研究員

東京大学大学院修士課程(美術史)修了。福岡市美術館、九州国立博物館、東京国立博物館を経て現職。専門は日本の中近世絵画で、近年は、文化財を災害の被害から守る文化財防災業務にも従事。担当した展覧会は、「新・桃山展—大航海時代の日本美術」(2017年、九博)、「美を紡ぐ日本美術の名品」(2019年、東博)など。最近の研究に「災害・復興・アートの力—長沢芦雪の場合—」『生誕270年 長沢芦雪』2024年2月、「月次風俗図の光学調査—犬追物図と富士巻狩図を中心に—」『MUSEUM』706号、2023年10月などがある。

お申込方法:

九経調ホームページ(<https://www.kerc.or.jp>)
またはQRコードよりお申し込みください。

★登録完了後、お申込確認メールが自動返信されます。
(ご参加方法、参加用URL、キャンセル方法記載)

- ※1:ネット配信サービス「Zoom」にてライブ配信致します。事前のアプリインストール(無料)を推奨しますが、それが難しい方は、WEBブラウザ(Google Chrome)からご参加ください。
- ※2:安定したWi-Fi環境下でご視聴ください。
- ※3:参加者の映像・音声・お名前などは表示されません。
- ※4:状況により、中止となる可能性があることをご承知おきください。

締切: 2月13日(火)17:00 ※事前のお申込が必要です

参加費: 無料



主催:公益財団法人九州経済調査協会

後援:公益財団法人九州国立博物館振興財団